

【東区産業発見クイズラリー】 参加レポート

アップルスポーツカレッジ

スポーツマネジメント科スポーツマネジメントコース 小林風華

①企画の概要

東区の五か所をまわって各場所に設置してあるクイズに答え、産業のまち東区について理解を深める。知るきっかけをつくる。

スタート、ゴール地点＜東区役所＞



＜山の下みなとランド＞



＜大山ポンプ場＞



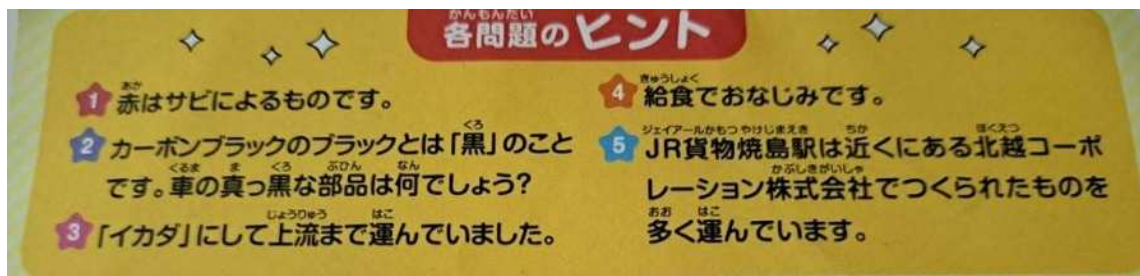
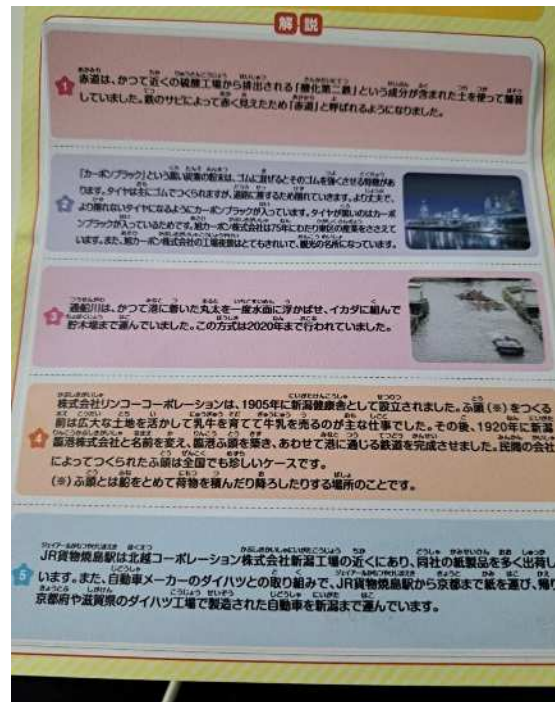
＜寺山公園＞



これらの四か所に加えてもう一か所、イオンモール新潟東店での問題文設置がありました。

それぞれの箇所をめぐりクイズに挑戦することで、用紙に書かれている○に、一文字ずつ言葉が当てはまっていき、最終的に答えを導き出すことができました。

② イベントを体験して感じたこと



用紙の裏にヒントがあったため、少し難しめな問題の時も、折れずに再度考えるきっかけになりました。また、用紙の漢字にふりがなが入っていて小学校低学年にも分かりやすく、どんな年代にも対応していることは素晴らしい配慮だと感じました。

問題文の設置場所が詳しく書かれていたため、着いてからは見つけるのにてこずらず良いと思いました。その他の点で、交通手段の推奨をホームページや用紙、ポスターに記載して、受付でも口頭で伝えていただけると、参加者はより分かりやすいのではないかと思います。

③ イベントを通して学んだこと

本イベントの参加を通して、企画・運営における重要なポイントを2点学びました。

1つ目は、「地域性や対象分野に関する専門知識・知見を持った主体が中心となって企画立案を行うことの重要性」です。地域の特性やターゲット層の行動パターンを深く理解しているからこそ、開催時期や時間帯、ルート設定などを最適化し、参加者の利便性と満足度を最大化できるのだと実感いたしました。

2つ目は、「参加者の体験価値を左右する『最初と最後』におけるホスピタリティの重要性」です。イベント全体の印象は、受付での第一印象と、フィニッシュ（答え合わせ・ゴール）での見送りという「始点」と「終点」の接点で大きく決まります。受付で温かく迎えらることで参加者の期待感や意欲が高まり、最後に気持ちよく対応されることで「参加してよかった」という高い満足感とともにイベントを締め括ることができます。この接点における接客・ホスピタリティの質は、スポーツ興行や各種イベント運営においても共通する極めて重要な要素であると再認識いたしました。

④ 考察・改善提案

今後のイベント活性化および満足度向上に向け、体験価値を高める仕掛けとして以下の2点を提案いたします。

① 「クイズ×スタンプラリー」による参加意欲の持続・達成感の醸成

各チェックポイントにクイズ問題だけでなく「記念スタンプ」を併設することを提案します。解答用紙（台紙）にスタンプを押していくアクションを加えることで、特に子ども層の収集欲やワクワク感を刺激し、全地点を巡るモチベーションを維持・向上させることができると考えます。

② 「フォトスポット設置」と「SNS・デジタル連動インセンティブ」の導入

各スポットにオリジナル顔出しパネルなどの撮影スポットを設置し、親子やグループでの記念撮影を促す取り組みです。さらに、「現地で撮影した写真をゴールの区役所で提示（あるいはSNS投稿画面を提示）すると、追加の限定ノベ

ルティを進呈する」といった連携施策を設けることで、思い出作りを演出すると同時に、イベントの拡散強化につながると考えます。またこのような地域特化型イベントがあればぜひ参加させていただきたいです。